

フラトン ヘリテージではシンガポールの歴史を体験していただけます

フラトンヘリテージは、シンガポールの中心に位置しており、マリーナベイ沿いの歴史に触れることができます。現在のシンガポールを創設した、トマス・スタンフォード・ラッフルズの時代である1819年から、フラトンヘリテージはシンガポール創設の激動が今日のような近代都市の発展へと変化していく様子を見守ってきました。

現在、フラトン ホテル シンガポール、フラトン ベイホテル シンガポール、フラトン ウォーターポート ハウス、ワン フラトン、フラトン パビリオン、クリフォードピアおよびカスタム ハウスの7つで構成されています。

過去の偉人たちの業績を、実際にご覧になってみてください。

シンガポールの歴史の概要

かつては静かな島でしたが、ラッフルズが渡来してから、シンガポールは主要都市へと急速に成長し、貿易で賑わい始めました。旅行者は新しい生活とビジネスチャンスを求めて、現在フラトンヘリテージがある、シンガポールの海岸へと渡ってきました。1965年8月9日、初代首相故リー・クアンユーの指揮のもと、シンガポールは国家として独立しました。

シンガポールの歴史的地区

フラトンヘリテージは、お客様にシンガポールの文化やアート、商業面での魅力を存分に感じていただける空間です。私どものホテル周辺にある、様々な素晴らしい名所をぜひご訪問ください。



情報芸術省、シンガポール国立博物館の提供

シンガポール川とラッフルズ 脚上陸地点

1819年にスタンフォード・ラッフルズが島に初めて上陸した場所である、ラッフルズ脚上陸地点はシンガポール川沿いに位置しています。彼はそこで何を見つけたのでしょうか。貿易開拓地として理想的な深い土手です。

この発見は現在のシンガポール誕生のきっかけになりました。初期は、ポートキーの倉庫や店に行くためには、船で川を渡らなければいけません。クラークキーとロバートソンキーは、貿易

が著しく盛んになってから発展しました。この川は、海運業がケッペル港に移る、1970年代までシンガポールのライフラインとして活用されていました。1983年の貿易政策で再び息を吹き返しました。

歴史を彷彿させるリバー タクシーに乗ったり、レストランやバーが多くあるポートキーの指定保護地区にある店で冷たいお飲み物をお楽しみいただけます。



カスタムハウス

フラトン ベイホテル

クリフォード・ピア

フラトン パビリオン

ワンフラトン

フラトン ホテル

フラトン ウォーターポートハウス

マールイオン公園

グルメ パラダイス

シンガポール本場の娯楽を体験しよう！シンガポールで流行っている娯楽といえば、心行くまでお食事を楽しむことです。フラトンヘリテージで、美味しい地元の料理やアジア各国の料理、イタリア、スペインの料理などご堪能ください。

フラトン ホテル

ご予約およびお問い合わせは、お電話 (+65) 6877 8911 / 8912 またはメールにて承っております。



ジェイド

料理長のレオンチー・エイとシェフたちが手がける、創造的で上品な広東料理をお楽しみいただけます。



ポストバー

ポストバーでは、シンブルなビジネスランチや特製のカクテルなど様々なメニューをご用意。近代的な内装の屋外テラスは、風通しもよく、落ち着いた時間をお過ごしになれます。

ライトハウス レストラン & ルーフトッパー

フラトン ホテルの8階に位置しているライトハウス レストラン & ルーフトッパーは、スカイラインのが一望できる、素敵な雰囲気の本格イタリアンレストランです。屋上はバーとなり、食前酒や食後酒をお楽しみいただけます。



タウンレストラン

タウンレストランは、1日中お食事のできるレストランです。地元料理から世界各国の料理まで取り揃えたメニューの豊富なビュッフェや、伝説のサンデー シャンパンランチで知られています。屋外にあるテラス席ではシンガポール川を渡るボートが見え、優雅な景色をご堪能いただけます。



ザ・コートヤード

平日は日本料理またはインドカレーのビュッフェを、金曜日と土曜日にはくろぎのアフタヌーンティーまたは当ホテル自慢のチョコレートビュッフェを、太陽の光に照らされながら、開放感のある空間でご堪能いただけます。

フラトン ベイホテル

ご予約およびお問い合わせは、お電話 (+65) 6877 8911 / 8912 またはメールにて承っております。



クリフォード・ピア

当ホテルを代表するレストラン、クリフォードピアは建てられた当時のままの場所に新しい時代の到来を告げています。アジア料理と西欧料理の特徴を再解釈したシンガポールで最高のお料理をご堪能いただけます。ジャズのデュオによって演奏される甘いバラードや、クリフォードピア自慢のお料理やカクテルを満喫していただけです。



ラブラッセリー

ラブラッセリーの店内には全長1メートルにも及ぶ大型窓があり、そちらからマリーナベイの美しい絶景を見渡せます。グルメなお客様も唸らせる、フレンチビストロのお料理をご堪能ください。



ランディングポイント

マーブルモザイクが敷き詰められたフロアが洗練された雰囲気を出しているランディングポイントは、グルメなお客様にとって理想的なレストランです。美味しいお食事はもちろん、カクテルのセレクションも充実しています。ウォーターフロントの美しいパノラマビューをご覧になりながら、素敵なダイニングをお楽しみください。



ランタン

星空の下で、都市のスカイラインを眺めながら手作りカクテルとともに贅沢な時間をお過ごしいただけます。屋上に位置しているランタンは、いつも活気のある音楽で溢れています。

フラトン ヘリテージ プリーシント

フラトン ウォーターポートハウス、ワンフラトン、フラトンパビリオン、カスタムハウスには、壮大なオーシャンビューを楽しめる高級レストランやカフェ、バーをご用意しています。和洋折衷の様々なお食事メニューを、ぜひご堪能ください。詳細はこちらをご覧ください。
www.thefullertonheritage.com

フラトン ヘリテージ

シンガポール

歴史の遺産

フラトンヘリテージでは、歴史ある様々な建物を保存、または改修して利用しています。このエリアには、シンガポールの豊かな歴史や遺産を深く理解されたいお客様にとって、理想的な空間が広がっています。歴史の深い建物には、すべて、数えきれない物語が存在します。かつて多くの人々が暮らし、働き、遊んだ記憶に、このエリアに足を運ばれたお客様は触れることができるはずです。過去の思い出を蘇らせる上でも、新しい思い出を作る上でも、私たちの歴史の1ページにお客様を心からお迎えしたいと思います。

無料の歴史ガイドツアー

シンガポールの素晴らしい歴史を知っていただくため、フラトンヘリテージでは2種類のガイド付きツアーを週に5回設けております。ツアーのご予約は、フラトンホテルシンガポールまたはフラトンベイホテルシンガポールのコンシェルジュにお電話いただくか当ホテルのウェブサイトにて承っております

フラトンホテルのコンシェルジュ (65) 6877 8078 フラトンベイホテルのコンシェルジュ (65) 6597 5312

www.thefullertonheritage.com

[the fullerton heritage](https://www.facebook.com/thefullertonheritage)

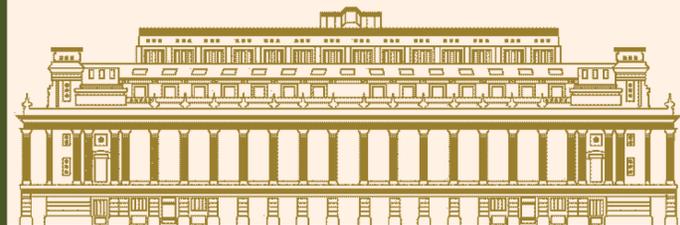
[the fullerton heritage](https://www.instagram.com/thefullertonheritage)

100% 再生紙を利用しています

シンガポール

フラトンヘリテージ

ご紹介ガイド



フラトン ホテル シンガポール



シンガポール国立博物館

フラトンビルディング - 「この都市で必ず訪問すべき建物の一つ」

1928年に建設されたフラトンビルディングは、建設当初、当時のシンガポール総督のロバート・フラトンの名前に因んで名付けられました。この建物は、シンガポール川の河口にある、フラトン要塞(1825年-1873年)の跡地に建てられていました。

多くの人々は、この場所にかつて中央郵便局があったことを思い出します。その他にも政府機関の様々なオフィスが入ったシンガポールクラブや、商工会議所としても利用されていました。その後この建物は保存・改修工事が施され、2001年1月1日にはフラトンホテルシンガポールとして新しい歴史を刻みました。



リー・キアピンコレクション、シンガポール国立博物館

建物

フラトンビルディングは、ネオクラシカルな設計が施された荘厳な建物です。英国が植民地化を祝う一環として計画された同建築の建設は、Major P.H. Keys の設計により、1920年に完成しました。当建物には美しいドリス式円柱のファサードが5つ用意されています。

港を一望できる東側のファサードは、当時シンガポールへ到着したばかりの移民達に、非常に強烈な印象を残していました。



情報芸術省とアートコレクション、シンガポール国立博物館

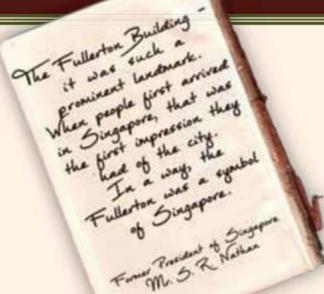
中央郵便局 (GPO)

インターネットや携帯電話のサービスが存在しなかった時代に、GPOはコミュニケーションと貿易の中心的な役割を果たしていました。かつてのフラトンビルディングを知る方々は、当時GPOのオフィスが入っていた階下を歩くと、その頃の思い出がよみがえるかもしれません。当時、同建物の地下フロアは、荷物の仕分けに使用されていました。また一階では、郵便カウンターや電報窓口、手紙の仕分け等が行われていました。

フラトンヘリテージギャラリーポストバーには、印象的な赤いポストが置かれています。1873年から利用された最初の赤い郵便ボックス (Red Pillar Post Box) は、イギリス植民地時代を象徴するものとして多くの観光客の注目を集めています。

ご存知でしたか？

フラトンヘリテージギャラリーには、1932年当時の時代を振り返る、貴重な写真や地図、切手などが展示されています。一階にご用意された当ギャラリーに、ぜひぜひお運びください



政府機関向けビルディング

フラトンビルディングは、中央郵便局以外にも、様々な政府関連機関の部署が入っていました。経済開発庁や財務庁、内国税歳入庁、輸出入庁、さらに海上保安事務所などが当建物を利用してました。

長い歴史を誇るフラトンビルディングで勤務した著名人には、S.R. Nathan 前首相などが挙げられます。同氏は1950年代に海上保安事務所勤務していました。その他にも、1960年代に財務省でキャリアを築いた Goh Chok Tong 前首相も、当建物で勤務していました。

ご存知でしたか？

フラトンビルディングに建てられた政府関連オフィスの歴史を記念して、フラトンホテルの地下層にあるミーティングルームの一部は、下記の様な名前が付けられています。
 ・インランドレバニウムルーム - 内国税歳入庁
 ・TDB ルーム - 貿易開発庁
 ・GPO ルーム - 中央郵便局
 ・EDB ルーム - 経済開発庁



マイルゼロ、GPOに繋がるシンガポールのすべてのストリート

フラトンビルディングはかつて、シンガポールのマイルゼロでした。かつて、シンガポールのすべてのストリートは、この地点から始まったのです。

現在のシンガポールの道路システムが導入される以前は、人々が「マイルストーンに到達した」と言う時は、字義通りの意味で言っていたのです。当時、人々は島までの道のりを忘れないように、路上に置かれている標石を自印にしていた。1マイル(1.6キロ)毎に、標石(マイルストーン)が置かれてあり、島の様々なエリアへ移動する人々に重宝されていました。



情報芸術省とアートコレクション、シンガポール国立博物館

シンガポールクラブ

1928年から1961年にかけて、フラトンビルディングの3分の一は、シンガポールクラブで占められていました。1862年に設立された当クラブでは、政府の役人や裕福な商人たちが仕事をしていた。彼らの存在は、当建物を象徴していました。その後「タウンクラブ」と呼ばれた同クラブは、1961年にその姿を消しました。今日このクラブは「シンガポールタウンクラブ」として知られています。

ご存知でしたか？

クラブ会員にならずとも、特典をお楽しみいただけます! ストレイトルーム(4階)に足を運ぶと、イタリアの彫刻家 Cavaliere Rudolfo Nolli (1888-1963)による美しいデザインが特長の部屋をご覧ください。

またタウンレストランでは、フラトン名物のチキンライスや、シンガポールサテーをお賞味いただけます。



情報芸術省とアートコレクション、シンガポール国立博物館

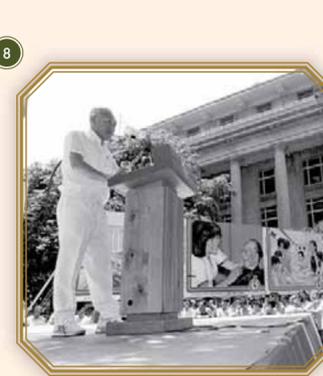
フラトンライトハウス

フラトンビルディングは、1958年にフラトンライトハウスとして改装されました。このエリアは1917年に操業停止になるまで、シンガポール湾の安全を見守り続けていました。

今日は、イタリアンレストランに生まれ変わり、多くの観光客で賑わっています。また当時のビーコンは、現在、ハーバーフロントタウンで実際にご覧いただけます。

ご存知でしたか？

ライトハウスは、当時、「スパータン」と名付けられていました。Goh Chok Tong 前首相が金魚疔で勤務していた当時、昼食で「スパータン」に足を運んでいたことに由来します。当時の料理やサービス、家具などが現在も再現されています。



情報芸術省とアートコレクション、シンガポール国立博物館

フラトンスクエアの前首相

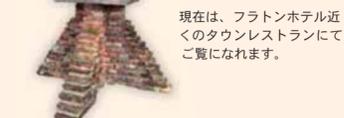
1960年から1980年にかけて、シンガポールの人民行動党(PAP)は、フラトンスクエアで人々の注目を集める運動を行っていました。前首相の Lee Kuan Yew 氏は「White on White」支持者たちに、連日多くの演説を行っていました。

ご存知でしたか？

「White on White」とは、PAP支持者のことを指します。彼らは白いシャツを常に着ていたことに由来します。PAPの清廉性を表す色でもありました。しかし白いユニフォームでも、党の失脚後は、クリーンなイメージを取り戻すことはできませんでした。

礎石

シンガポールの初めての大統領「Yusof bin Ishak」にちなんで、礎石は「シンガポールの当時の時代を想起させるモニュメント」と名付けられました。後に、この礎石は、記念碑として多くの人々に愛されることとなります。

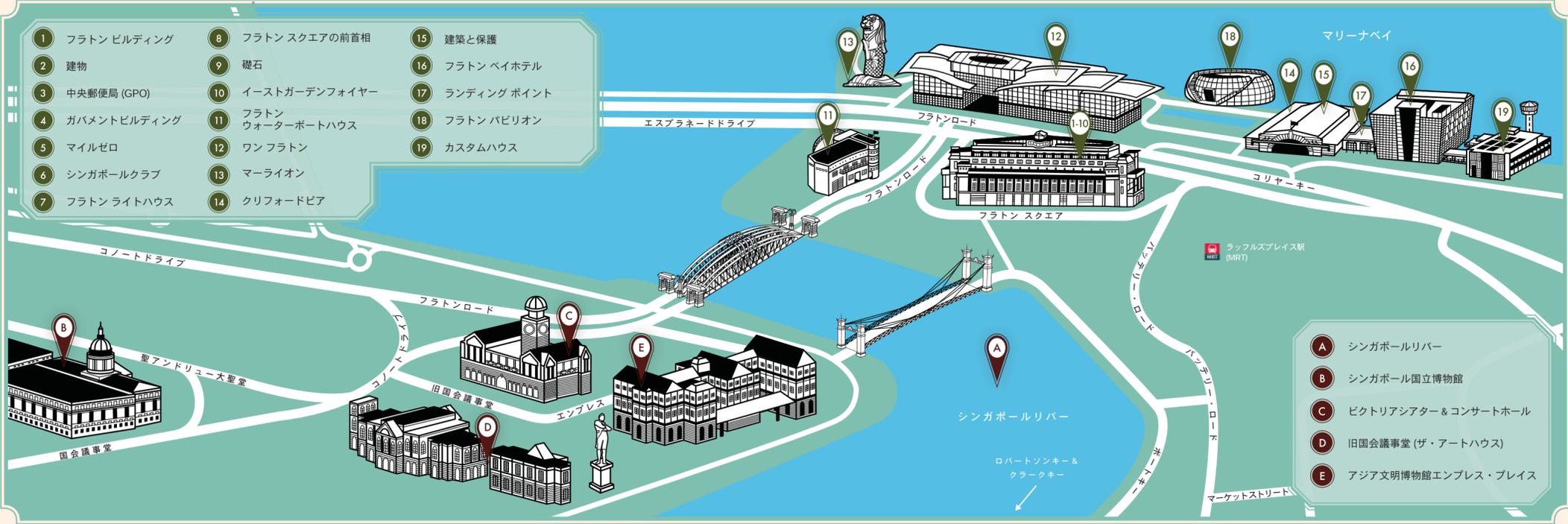


現在は、フラトンホテル近くのタウンレストランにてご覧いただけます。



イーストガーデンフォイヤー

イーストガーデンフォイヤーは、国内外の著名なアーティスト達により建設されました。



- | | | |
|---------------|--------------------|---------------|
| 1 フラトンビルディング | 8 フラトンスクエアの前首相 | 15 建築と保護 |
| 2 建物 | 9 礎石 | 16 フラトンベイホテル |
| 3 中央郵便局 (GPO) | 10 イーストガーデンフォイヤー | 17 ランディングポイント |
| 4 ガバメントビルディング | 11 フラトンウォーターポートハウス | 18 フラトンパビリオン |
| 5 マイルゼロ | 12 ワンフラトン | 19 カスタムハウス |
| 6 シンガポールクラブ | 13 マーライオン | |
| 7 フラトンライトハウス | 14 クリフォードピア | |

- | |
|----------------------|
| A シンガポールリバー |
| B シンガポール国立博物館 |
| C ビクトリアシアター&コンサートホール |
| D 旧国会議事堂 (ザ・アートハウス) |
| E アジア文明博物館エンプレス・プレイス |

フラトンウォーターポートハウス



ウォンクアンコレクション、シンガポール国立博物館

フラトンウォーターポートハウス

1940年にSwan & MaclarenがHammer & Companyの依頼で設計したアールデコスタイルの建物は、現在でも美しくエレガントな佇まいをしています。2005年には、その改修工事が高く評価され、Architectural Heritage Award (建築ヘリテージアワード)を受賞しました。

現在はシンガポールのF1フランプリサーキットのフラトンヘアピン(ターン13)にも、利用されています。

ワンフラトン

マリナベイに建てられたこの美しい建物では、終日ダイニングをお楽しみいただけます。多くの観光客で賑わうマーライオン公園のすぐ脇という絶好のロケーションです。



シンガポールを象徴するマーライオンは、「シンガ・プーラ(サンスクリット語でライオンシティ)」という言葉に由来しています。全長8.6メートルのマーライオンは、Lim Nang Sengによりデザインが施され、当時の首相 Lee Kuan Yew により1972年に披露されました。

ポストバーやフラトンホテルシンガポール、ランディングポイント、フラトンベイホテルシンガポールでは、「マーライオンカクテル」をお試いただけます!

内容量

- 45ml テキーラ
- 25ml ライムジュース
- 25ml シュガーシロップ
- 10ml ザクロシロップ
- 10ml ジンジャー・ジュース
- 20ml エッグホワイト

クリフォードピア

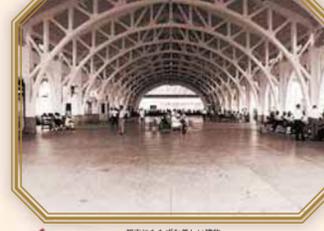


都市にたぐずむ美しい建物

クリフォード・ピア

1933年6月3日に建設されたクリフォードピアは、当時のシンガポールの移民たちの上陸地点でした。当建物は当時の植民地総督であるHugh Clifford氏の名前に因んでつけられました。しかし、船乗りたちの目印として利用された当エリアは、『赤い提灯 (Red Lantern Pier)』という名前の方が、より多くの人々に認識されるでしょう。クリフォードピアは2006年にその役割を終え、その後は、フラトンベイホテルが経営する「クリフォードピア」レストランとして新たな歴史を刻み始めました。当レストランがご用意する国内外の様々なお料理は、多様な文化が溢れるシンガポールという国を象徴しています。

建築と保護



都市にたぐずむ美しい建物

建築と保護

クリフォードピアは、全長36フィートという荘厳な建物の特長としており、多くの人々に常に賑わっていました。当時のクリフォードピアの様々な要素は、現在にも面影を残しています。この建物に実際に足を運ばれたお客様は、当時のシンガポールの豊かな歴史を感じることができません。この国の長く豊かな歴史に触れる絶好の場所と言えるでしょう。

フラトンベイホテル



都市にたぐずむ美しい建物

フラトンベイホテル

ウォーターフロントエリアに建てられたフラトンベイホテルシンガポールは必見の建物です。当ホテルの、息を呑むほど美しい建築や贅沢なインテリアをぜひご覧ください。当ビルディングは、クリフォードピアとカスタムハウスの設計を参考にしています。シンガポールの当時の歴史を感じさせる美しい建物は、現在も健在です。この国の長く豊かな歴史に触れる絶好の場所と言えるでしょう。

ランディングポイント



都市にたぐずむ美しい建物

ランディングポイント

マーブルモザイクが敷き詰められたフロアが洗練された雰囲気を出しているランディングポイントは、1933年から2006年にかけて、多くの移民たちの上陸地点として利用されてきました。現在このエリアは、多くの地元民や観光客でいつも賑わいを見せています。

フラトンパビリオン



都市にたぐずむ美しい建物

フラトンパビリオン

フラトンヘリテージに新たに参加したフラトンパビリオンは、ワンフラトンとクリフォードピアの間にある、フローティングタイプのドーム型の建物です。現在は受賞歴もあるスペインレストラン「Catalunya」が店舗を構えています。

カスタムハウス



都市にたぐずむ美しい建物

カスタムハウス

シンガポールを代表する港であったカスタムハウスは、当時は、シンガポール関税警察のオフィスの一部として利用されていました。その頃には23メートルという高さを誇る管理塔があり、海上付近での犯罪を監視するために活用されていました。カスタムハウスには、海賊行為に関わる様々なストーリーが存在しています。このエリアは、そうしたシンガポールの歴史の一部を観察し続けた目撃者と言えるかもしれません。